

企業の子ども応援プロジェクト in 港区

実施後インタビューVo.2

株式会社 WOWOW

株式会社 WOWOW

人事総務局総務部 富澤 律子様 人事総務局人事部 坂本 晋也様

インタビュアー：朝山あつこ（NPO 法人キーパーソン 21 代表理事）

2012年12月15日 株式会社 WOWOW の社員 9名の皆様のご協力により、港区立赤坂中学校にて、1年生 2クラス 35名を対象に夢発見プログラム「おもしろい仕事人がやってくる！」「コミュニケーションゲーム」を実施いたしました。（おもしろい仕事人：編成制作局編成部 太田慎也様）実施後、人事総務局総務部の富澤律子様、人事総務局人事部坂本晋也様にお話を伺いました。

WOWOWらしい社会貢献とは何か？

朝山 プロジェクトに参加されたきっかけはなんですか？

富澤 当社の CSR として、何をやっていこうかと考えた時に、世の中のどんな課題をチョイスするのかとても悩みました。世の中には解決しなければならない社会問題がいくらかもあるので…。最終的に WOWOW らしい社会貢献って何なのだろうと考えた時に、「子どもへの教育と地域貢献」という分野にアプローチしたいと考えました。弊社としては、子どもたちにエンターテインメントと出会ってワクワクしてほしいというところがあるので、教育支援がそのきっかけになればと思ったからです。また、地元との関わりも大切だと思いました。テレビ局というのは土地でイメージができあがることが多いので、WOWOW は赤坂にあるのだということ、近隣の方々に広く知ってもらいたいという気持ちがありました。ですので、実施校は弊社から最寄りの港区立赤坂中学



“子どもたちに、エンターテインメントと
出会ってワクワクしてほしい”

校を希望させていただきました。さらに、今回の「企業の子ども応援プロジェクト」に関しては、弊社から何かを提供するだけではなく、弊社の社員にとっても学びがあるような内容だったことも、大きなきっかけです。



朝山 NPOと一緒に仕事をする上で、何か不安はありませんでしたか？

坂本 キーパーソン 21 のホームページを見て、活動に共感していたので、不安は全くありませんでした。

富澤 全くありません。むしろ、学校と企業のつなぎ役になっていただいて、ありがたかったです。CSRを行なっている企業であれば、教育現場で何か活動をしたいというところは多いと思います。ただ、企業が単独で行おうとすると、なかなか難しい面が多いと思います。ですので、学校

側としては教育委員会がまとめ役になっていて、企業側としてはキーパーソン 21 さんのような NPO がとりまとめてくださり、学校と企業のマッチングをしていただけるというのは、システムとしてとてもすばらしいと思います。

コミュニケーションゲームの事前研修は、仕事で直接役に立つ研修だった

朝山 プロジェクト実施後、社員の方に変化はありましたか？

富澤 仕事以外の場で社外の方々と接することで、社員が良い刺激を受けたと思います。社会的な課題に対して、「何ができるのか」を社員一人ひとりが考えることが重要で、それを探る機会になったのではないかと思ったからです。また、コミュニケーションゲームの事前研修は、仕事で直接役に立つような研修でもあったと思います。コミュニケーションゲームの参加者が体感する、「コミュニケーション」や「傾聴」、「相手に対する承認」というテーマは、普通に講師の方をお呼びしてやっているような研修内容です。

坂本 コミュニケーションゲームで、短い時間で子どもたちの長所を紙に書いて一人ひとりにフィードバックしてあげるという大人役の作業は、思っていた以上に大変でしたが、結果的に子ども

たちを上手くリードできたことは社員にとっても自信になったと思います。また、「おもしろい仕事人」を務めた太田の話は、とても刺激になりました。会社の同僚が自分の仕事についてじっくり語る場所を見る機会がなかったからで



す。また、太田が自分の引き出しをどんどん出して、子どもたちを惹きつけていったことに感心しました。私たちの仕事は、お客さんに興味をもってもらって引き込ませるようなことが大切なので、改めてすごく熱い気持ちを持って日々仕事をしているのだなと思いました。次回以降の「おもしろい仕事人」を務める社員にとっても、いかに子どもたちから興味を持ってもらうかを考えることは、良い機会になると思います。

企業の子ども応援プロジェクトに関するお問い合わせ

NPO 法人キーパーソン 21

E-mail: info@keyperson21.org TEL: 044-431-0420